

## セントラル労組への檄

九州労働金庫労働組合  
青年委員会事務局長 池上 泰司

2014 春季生活闘争では、オール・ワンシステム移行完了という成果に対する労い、そして健康で働き続ける環境を整備するという意味でも、年間一時金の満額回答、連続休暇制度の確立については拘りをもって闘争を進め、勝ち取らなければならない。

2014 年 1 月、労働金庫で働くすべての仲間の奮闘の結果、業態の最重要課題であるオール・ワンシステム移行を成し遂げることができた。とりわけ、セントラル労組の仲間は、現在もオール・ワンシステム移行後の金庫問い合わせ対応やシステム障害、コンタクトセンターやヘルプデスク支援など、私たちの業務を支えるため、限られた人員体制の中で奮闘している。一方で、ここ数年に渡り、時間外・休日労働が増加していることもあり、心身ともに、明るく健康で働くことができる環境整備が必要である。

セントラル労組の要求項目実現に向け、全労金の仲間と連帯して、ともに頑張りましょう。